

live

14

ライブ live: 「自分らしく輝いて生きる」という想いを込めた男女共同参画推進のための情報紙です。ぜひご覧ください。

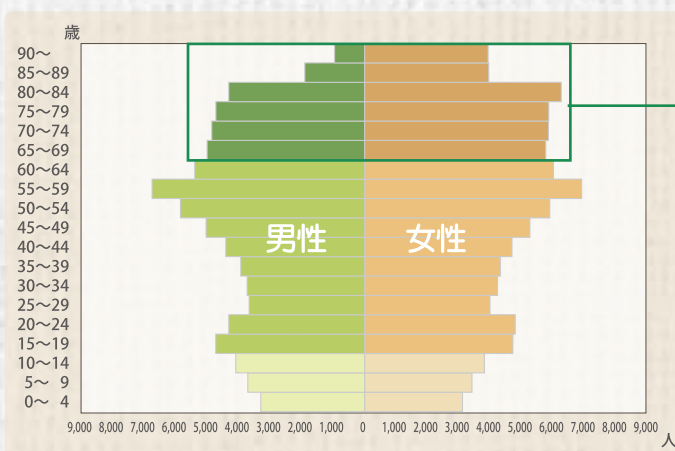
CONTENTS

- 2 特集 人口減少社会のイキイキ暮らし
- 7 クロスワードパズル
- 7 本とDVDの紹介
- 8 漫画で考える「男女共同参画」!

山口市の人口ピラミッド

※国勢調査（合併後の現在市域）
2030年予測は国勢調査データに基づき宗近推計

2030年
(予測)

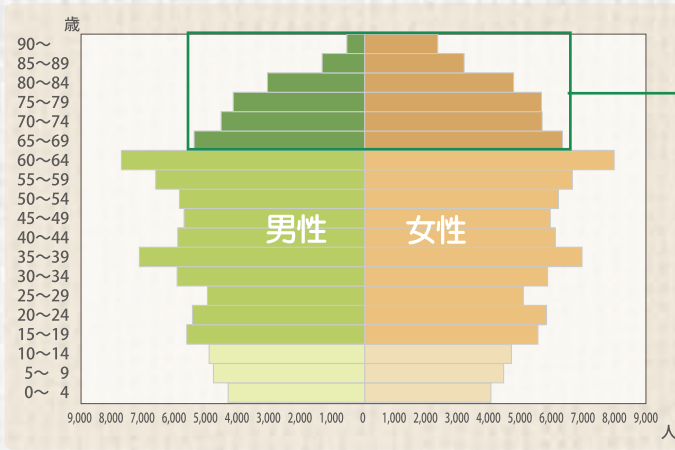


65歳以上の人口は、**31%**で
山口市の全人口の3分の1になり、
急速な高齢化が予測される。



更に高齢者が増加。

2010年
現代

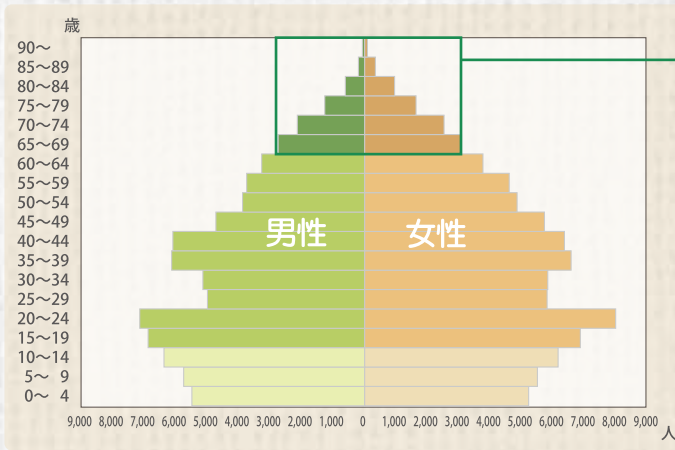


65歳以上の人口は、**24%**で
山口市の全人口の4分の1を占める。



若者が減り高齢者が増える。

1970年



65歳以上の人口は、山口市の全人口の**10%**。



三角ピラミッド型で、
高齢者が少なく若者が多い。

特集

人口減少社会の暮らし



イキイキ

プロフィール

早稲田大学法学部卒業後、1977年株式会社山口銀行入行。1983年財団法人山口経済研究所へ出向。1999年調査研究部長。

●現在の主な外部役職

山口県観光戦略会議委員
山口県農林関係事業推進委員会委員
下関市中心市街地活性化協議会幹事
下関市定住自立圏共生ビジョン懇談会委員
下関商工会議所あるかばーと開発特別委員会委員
九州経済連合会関門海峡道路建設促進協議会幹事
●これまでの大学非常勤講師就任歴
山口大学大学院技術経営研究科(地域経済論)
山口大学(山口県の地域政策)
山口県立大学(地域学)
下関市立大学(関門地域論)

一般財団法人 山口経済研究所

調査研究部長

宗近 孝憲 氏

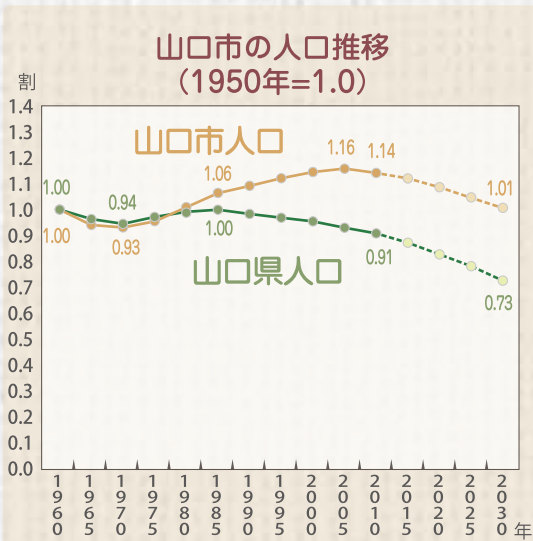
山口県内の経済・産業・企業経営等の調査研究を行い、地域社会の活性化に貢献している山口銀行系のシンクタンク、山口経済研究所の宗近孝憲さんに、人口減少社会をイキイキと生き抜く秘訣をお聞きしました。

山口市の人口は、それほど減少していない！

日本もいよいよ人口減少社会に突入しつつありますが、山口県では20年以上も前から人口が減少していて、1960年や1985年に比べ、約1割減少しています。1割人口が減少すれば、地域の消費者が1割減るわけですから、その分経済も縮みます。2030年までの予測では、更に大きく減少して、ピーク時の約7割になります。

しかし、山口市の人口はそれほど減少していません。1970年からずっと人口は増え続けており、2005年から2010年の間でほんの少し、1.3%だけ減少したのが、山口市の人口状況です。

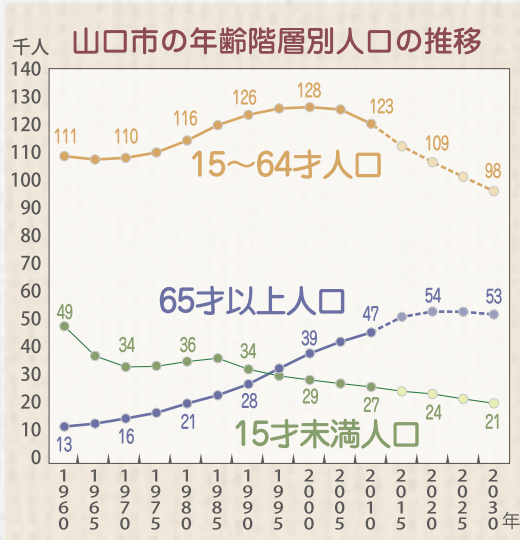
2030年までの予測では、山口市人口は1割程度減少しますが、それでも1960年の1に対し2030年が1.01ですから、人口は元に戻るくらいに思えるでしょう。



資料) 国勢調査(2005年以前の山口市人口は、小郡、秋穂、阿知須、徳地、阿東町を、合併後の現在市域とみなし調整) 予測は宗近推計

山口市の人口問題は 年齢構成にあり!

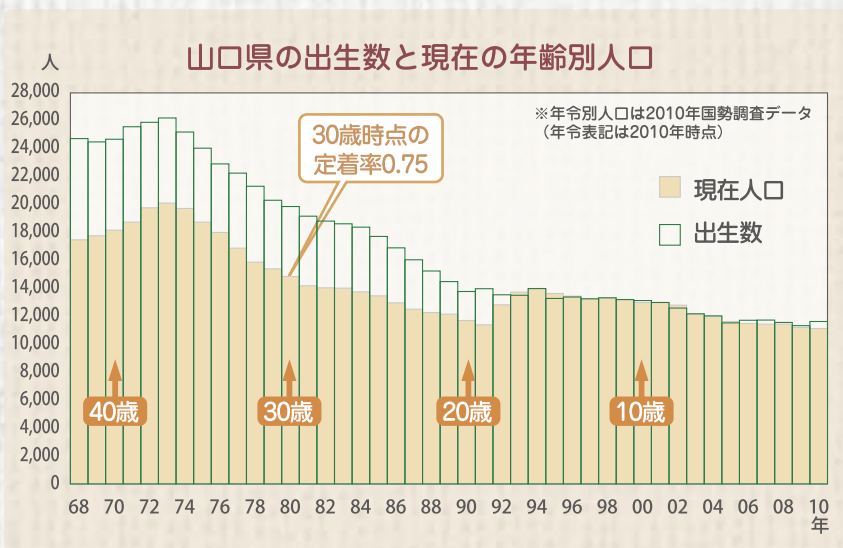
しかし、年齢区分を3つに分けると、山口市の人口問題が見えてきます。15歳から64歳までの年齢区分である生産年齢人口は、かつては大きく増加していましたが、2000年から減少に転じ、すでに4%減っています。そして、2030年までの間に、さらに2割減少します。深刻なのは、この年齢区分の人たちは衣食住や教育など、何かと一番お金を使い、税金を払う人たちなのです。この人たちが今後さらに2割も減っていくことは山口市にとっては大問題です。もちろん、高齢化も深刻です。人口は減少するのに高齢者は増加していきます。65歳以上の人口は1960年に比べ2010年には4倍近く増加しています。今後も更に増加します。山口市は、全体の人口の推移を見ると問題がない様に見えるますが、年齢構成の劇的変化という大きな問題にさしかかっています。



資料) 国勢調査(現在市域に遡及調整)。予測は宗近推計

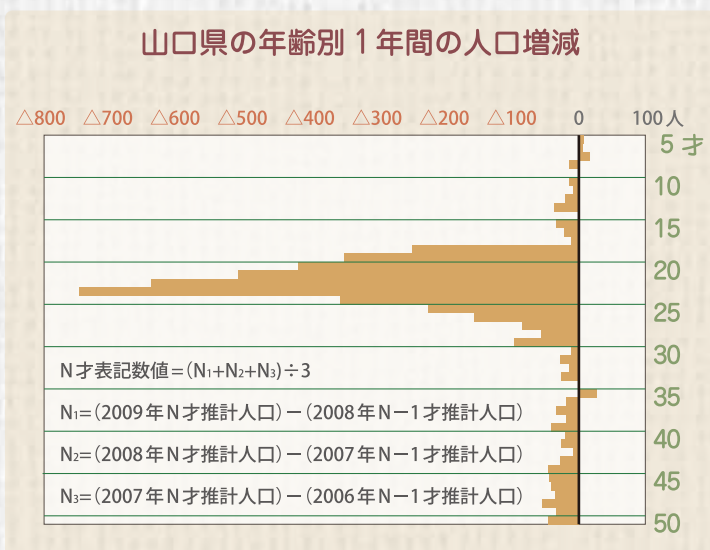
山口県人口は大きく減少! 要因は、人口流出!

さて、山口県全体の人口ですが、先程見たように、山口県では20年以上前から人口が減り続けています。その理由は、山口県の人口定着率を見ると分かります。出生数と現在の年齢別人口をみると、30歳時点の定着率が0.75で、出生数の1/4もが県外に流出しています。流出した分大きく人口が減りますし、子どもを産む親世代が流出するわけですから、生まれてくる子どもの数も大きく減ることになります。



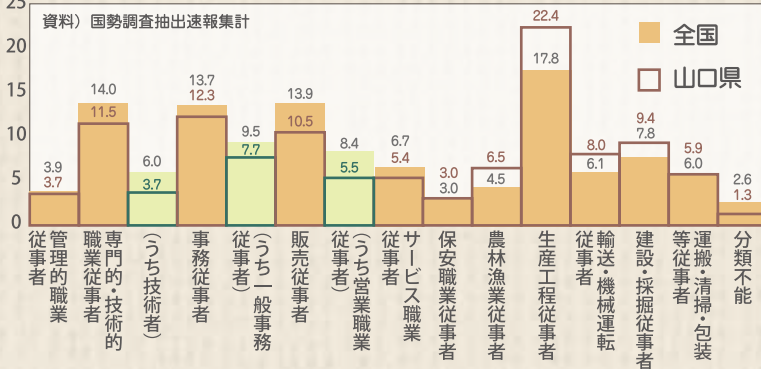
若者が流出! 要因は大卒就職先の不足!

山口県では現在、大学に進学する人は、浪人して進学する人も含めると高卒者の5割近くもいて、その8割は県外の大学に行きます。結局高卒者全体の(5割×8割)4割というおびただしい人数が進学のため県外流出します。当面の間は、逆に県外から山口県の大学に進学してくる人がいるので人口減少が極端には目立ちませんが、左のグラフに見るように、22~23歳で激減してしまいます。この時点で進学流出した若者は山口県に戻らず、他地域から進学の職場が山口県に少ないのが問題なのです。

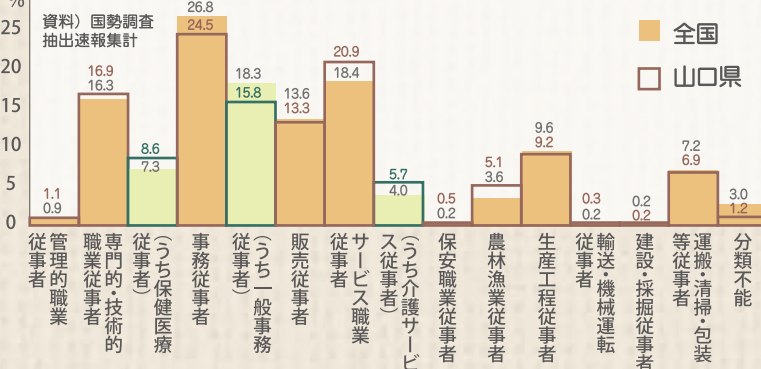


山口県の職場は高卒就職者の職場が中心

職業別男性就業者構成比（2010年）



職業別女性就業者構成比（2010年）



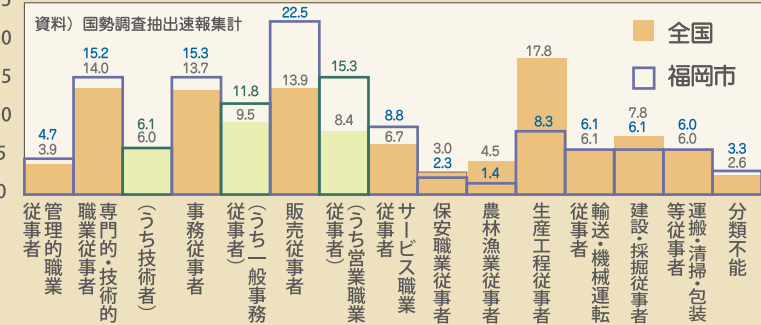
大卒者の就職先を、
山口市で作り出そう！

山口県には立派な工場もたくさんありますから、男性の職場では生産工程、輸送、建設従事者などのいわゆるブルーカラーの職場が充実しています。しかし立派な工場はあっても、本社機能が弱いため、事務職、営業職、専門職などのホワイトカラーの職場が少ないのが現状です。これが、大卒者の職場が山口県に少ない理由です。

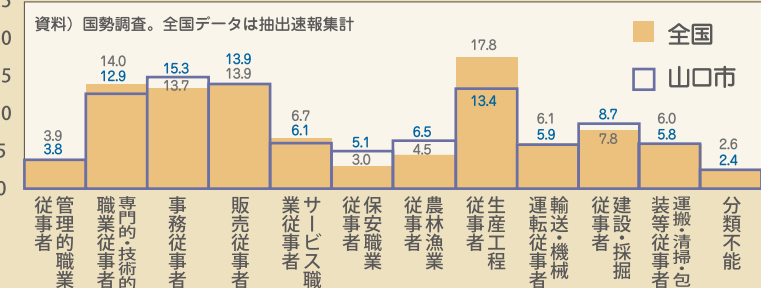
女性の場合、山口県は高齢化社会ですから、介護サービスや看護師の職場は多くあり、これが雇用の支えになっていきます。しかし事務職などの職場が少ないのは男性と同様です。このような山口県全体の職場問題に対しては、工場がたくさんあることで成り立っている都市ではなく、しかも県庁所在地都市であり県の中心都市である山口市が、大卒者の職場をたくさん作り出していくことで解決していったほしいと思います。

福岡市の職場は大卒就職者の職場が充実

職業別男性就業者構成比（2010年）



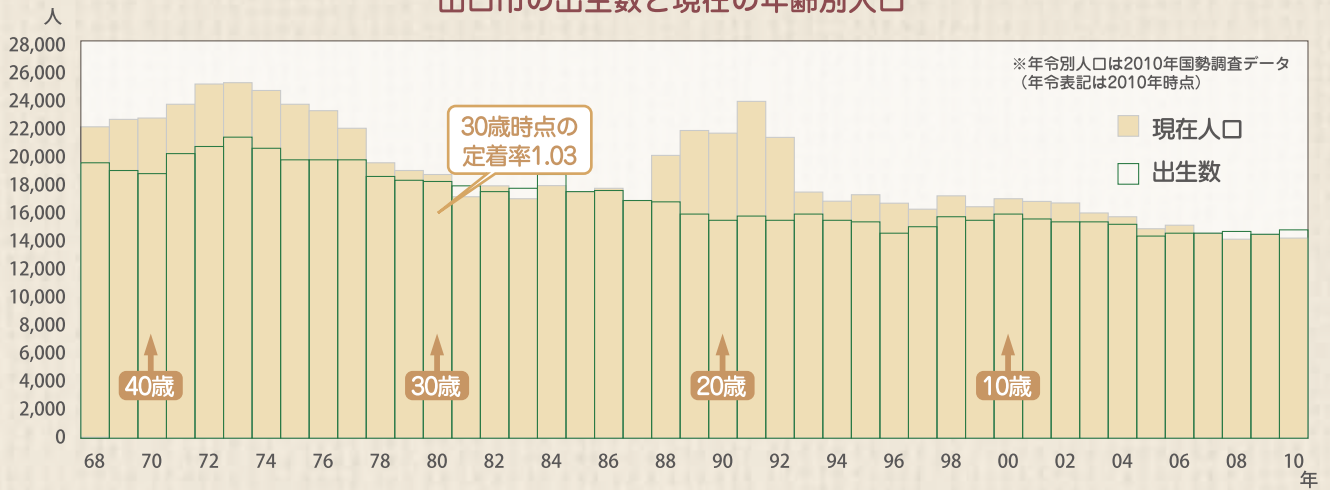
職業別男性就業者構成比（2010年）



福岡市と比べてみよう！

福岡市は生産工程従事者などブルーカラーの職場は少ないものの、営業職をはじめホワイトカラーの職場が非常に多いため、福岡県全体の大卒者を地元にとどめるばかりか、山口県をはじめ他県の大卒者を受け入れることもできています。やはり、県庁所在地都市にとって、大卒者職場流出の「ダム（せきとめる）機能」を持つことは重要な役割の一つです。山口市も福岡市のようにホワイトカラーの職場が充実すれば、山口県の若者の流出をせきとめることができるでしょう。また「この分野なら山口市」という特色ある産業があれば、地域で働く意義も高まり、周辺都市から人を集めることができるかもしれません。

山口市の出生数と現在の年齢別人口



山口市はベッドタウンとしての魅力あり！

山口市の人口が20歳前後で激増しているのは大学生の流入ですが、大学卒業時点で激減するのは、県庁や市役所、県警、外郭団体以外の、福岡市のような一般の大学生が勤める職場が少ないからです。しかし、その後30代、40代が若干増えてくるのは、県央の山口市内に家建て通勤するという、ベッドタウンとしての魅力があるからです。10代の子どもたちが出生数よりも多いのも、そのためだと考えられます。



男女が生き生きと暮らせる秘訣となるのです。

『ワーク・ライフ・バランス』の取組み、そしてそこからつながる『男女共同参画社会』の実現が最重要課題といえます。その社会の実現こそが、男性も女性も老若男女が生き生きと暮らせる秘訣となるのです。

人口減少社会で生き生きと暮らす秘訣とは？

高齢化社会の一番の問題は、マイカーを運転して移動することで生活が成り立つ現状の車社会が続けば、運転が困難になり移動ができなくなる交通弱者が大量に発生することです。そうなれば、買い物に行くことが困難になる買い物弱者も大量に発生することになります。これからの商売は、駐車場もあるので買いに来てくださいでは済みません。来てもらうのではなく届けてあげる物流サービスのシステム作りが課題になってきます。

そして、人口減少・少子化問題対策、さらに日本の経済力再生には、女性の経済力・活力が必要不可欠です。女性が働きながら安心して子どもを産み育てるためには、『ワーク・ライフ・バランス』の取組み、そしてそこからつながる『男女共同参画社会』の実現が最重要課題といえます。その社会の実現こそが、男性も女性も老若男女が生き生きと暮らせる秘訣となるのです。

期待の星

女性の活躍への期待



交流人口 || 観光客増加への期待



コンパクトシティ実現への期待



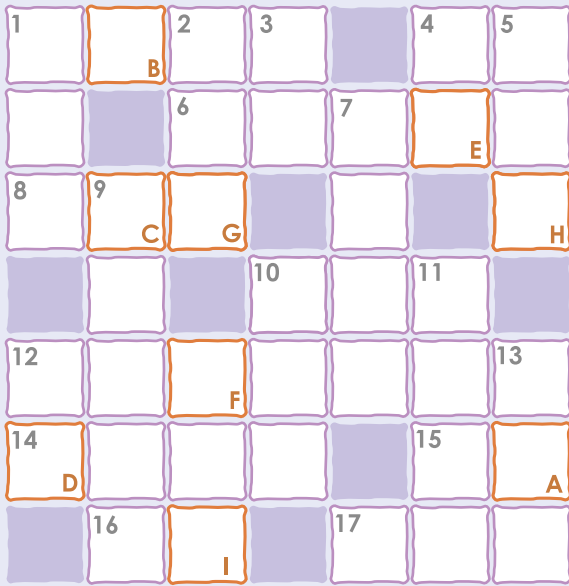
15歳から64歳までの生産年齢人口が減少するため、働く人の確保が急務になります。今後は、女性が働く時代になるでしょう。そのためにも、家事育児と仕事の両立ができるサポートが必要です。もちろん高齢者の家事サポートも必要です。女性が安心して働ける、高齢者が安心して暮らせるように、家事・育児を産業として外部からサポートする仕組みが構築できれば、出生数の増加や少子化対策にもつながります。

人口が減少すると、地域経済が衰退します。そこで交流する人口、つまり観光客の増加も重要です。山口市民ひとり当たりの年間平均消費は1200〜150万円です、この支出が地域の経済を支えています。例えば、山口市に1・2〜1・5万円のお金を落とすとしていく観光客が1000人いれば、人口1人分の年間消費と同額になり、100万人の観光客で人口1万人分に値し、観光客が地域経済を賄ってくれる計算になります。

日本全体が高齢化に向かうわけですから、山口市が生き生きとした暮らしができるまちであれば、老後を楽しく過ごしたい人が逆に流入してくれるでしょう。山口市は車社会なので、マイカーが無ければ移動も困難です。公共交通が整備され、歩いて暮らせるコンパクトシティの実現などが期待されています。コンパクトシティを進めると、人口が集積するため、「山口にホワイトカラーの職場を作り出す」という課題の解決にも有用です。

正解者のうち抽選で30名の方に図書カードを差し上げます。

Crossword



答えは **A B C D E F G H I** です！

■応募資格 市内在住か、在勤の方

■応募方法 3月15日(金)までに、はがきに答え・郵便番号・住所・氏名・年齢・感想をご記入の上、下記へ送付してください(当日消印有効)。

〒753-0074 山口市中央二丁目5-1

山口市男女共同参画センター ゆめぼぼら 宛

※正解者のうち抽選で30名の方に図書カードを差し上げます。

なお、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

- | | | | |
|--|---|---|---|
| <p>13 同じ穴の○○○</p> <p>12 ちよつどよい時に降る雨しぐれ</p> <p>11 あどげなくて、素直なこと</p> <p>10 ○○○カルチャー・農業</p> <p>9 白ワインを蒸留。樽につめて熟成させたブランドー</p> <p>7 肩かけ</p> <p>5 ○○○職・○○○挽回・○○○教授</p> | <p>17 女傭(おみな) ⇕ ○○○</p> <p>16 ○○○気・○○港・○○中</p> <p>15 東海道上陸栗毛の登場人物</p> <p>14 ○○○さん喜多さん</p> <p>12 水戸黄門の名脇役、○○○○八兵衛</p> <p>10 腕を英語で</p> <p>8 お祭りで○○○をかつぐ</p> <p>6 披露する素人芸</p> <p>4 普段は人に見せない宴会などで</p> | <p>1 南総○○○八犬伝</p> <p>1 「案山子」何て読む？</p> <p>1 一から九までの掛け算の暗記</p> <p>1 湯から立ちのぼる水蒸気</p> | <p>タテノカギ</p> <p>ヨコノカギ</p> |
|--|---|---|---|

これらの図書やDVDは、山口市男女共同参画センターにて貸し出しています。

Books & DVD



DVD



BOOK



BOOK

エンディングノート
(ハンダイビジュアル)
末期がんの宣告を受けた元熱血営業マンは自身の「死に至るまで」の段取りと、「エンディングノート(遺書)」作りに全力で取り組む。残される家族への愛情あふれる作品。

日本一社員がしあわせな会社の「けんな」きまり
山田昭男著(はる出版)
創業以来の徹底した「常識の反対を行く差別化」と「社員に全てを任せること」をテーマとして日本一ユニークな会社を創った社長の著書。社員からの提案は中身を見ずに1件500円で買取り、他の会社にあるものは作らず、社員の幸せのために儲かることを意識するなどの、独特な未来工業ワールドをのぞいてみよう。

母(オモエ) 姜尚中著(集英社)
第2次大戦中に、日本軍の憲兵となった肉親を訪ね、母は十代の若さで来日。そこで知り合った韓国人と結婚し、まもなく終戦を迎えるが、過酷な生活が始まる。日本語だけでなく、母国の言葉の読み書きを知らない母がいかに生き、子どもに愛情を注いできたかが綴られている。

漫画で考える「男女共同参画」!

人口減少社会の到来 兄弟編



子どもの受難編



結婚の条件 時代変遷編



漫画 山尾彩香さん プロフィール 山口市在住 1990年鳥取県生まれ 第15回まんが甲子園ブックバージョン 友田晴子賞受賞

エピソードを募集します。

家庭や職場、学校、地域などで、日常のうれしい、楽しい、またちよつと我慢ならないような「男女共同参画」のエピソードを募集します。

採用されたエピソードは四コマ漫画となって「山口市男女共同参画センター」の公式サイトで公開します。

■応募方法
3月15日(金)までに、はがき裏面(文面)にエピソードを記載し、表面に郵便番号・住所・氏名をご記入の上、左記へ送付してください。ペンネーム・封書・メールでの応募は不可(当日消印有効)。
〒753-0074
山口市中央二丁目5-1
山口市男女共同参画センター
ゆめぼら

「男女共同参画」エピソード係宛

「山口市男女共同参画センター」公式サイト <http://www.y-djc.com/> 山口市男女共同参画センター 検索

Live ライフ 第14号 発行 山口市市民安全部人権推進課 山口市男女共同参画ネットワーク 〒753-0074 山口市中央二丁目5-1(山口市市民会館事務所2F) TEL083-934-2841